

該当しないものは線で消してください。

ばい煙~~粉じん~~発生施設設置~~(使用、変更)~~届出書

令和〇年〇〇月〇〇日

千歳市長 様

押印は不要です。

該当しないものは線で消してください。

届出者 〒066-〇〇〇〇  
住所 千歳市〇〇町〇丁目〇-〇〇  
氏名 〇〇株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇  
電話番号 0123-〇〇〇〇-〇〇〇〇

千歳市公害防止条例第22条~~(第23条、第24条)~~の定めにより、ばい煙、粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 〇〇温泉	※受理年月日	年月日
工場又は事業場の所在地	千歳市〇〇町〇丁目 〇-〇〇	※整理番号	号
資本金額又は出資金額	2,000千円	※工場・事業場番号	号
就業者数	25人	※審査結果	
業種	浴場業	ばい煙、 <del>粉じん</del> 発生施設の種類	2 風呂ガマ
敷地面積(建築面積)	7,500㎡(2,500㎡)		
用途地域	準工業地域	ばい煙発生施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり
主要製品名			
操業期間	通年	ばい煙の処理方法	別紙2のとおり
作業時間	10:00~21:00		
公害防止担当部課責任者氏名	〇〇部〇〇課 課長 〇〇 〇〇 電話番号0123-〇〇-〇〇〇〇		

- 備考 1 ばい煙、粉じん発生施設の種類欄には、千歳市公害防止条例施行規則別表第1及び別表第2に掲げる項番号及び施設名を記入してください。
- 2 この届出書は、指定施設の種類ごとに作成します。
- 3 変更届の場合には、変更のあった部分について、変更前の内容を上段にカツコ書きで対照させて記入してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。

別紙1 ばい煙発生施設の構造及び使用方法

工場又は事業場における施設番号		1			
名称及び型式		ガス風呂釜 ABC-123-D			
設置年月日		令和〇年〇〇月〇〇日		年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		令和〇年◆◆月◆◆日		年 月 日	
規模	燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)	60.0 m <sup>3</sup> N/h (37.5 L/h)			
	火格子面積 (m <sup>2</sup> )				
	焼却能力 (kg/h)				
使用状況	1日の使用時間及び使用回数	10:00~21:00 30日/月		: ~ : 日/月	
		11時間/回 1回/日		時間/回 回/日	
原材料	種類				
	使用割合				
	1日の使用量 (t/日)				
燃料	種類	13A			
	燃料中の成分割合 (%)	灰分 0%	いおう分 0%	灰分	いおう分
	発熱量 (MJ/m <sup>3</sup> )	高位発熱量: 45.0MJ/m <sup>3</sup> 低位発熱量: 40.6MJ/m <sup>3</sup>			
	通常の使用量 (L/h又はkg/h)	35.0 m <sup>3</sup> N/h (最大60.0 m <sup>3</sup> N/h)		最大 ( )	
	混焼割合	100%			
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)		最大1366	通常820	最大	通常
排出ガス温度 (°C)		100			
ばい煙濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大 0.01	通常 0.01	最大	通常
	いおう酸化物 (容量比 ppm)	最大 0	通常 0	最大	通常
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大 0	通常 0	最大	通常
参考事項	重油の比重、空気比	比重		空気比	

備考 1 設置届の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届の場合には、設置年月日の欄に、変更届の場合には、設置年月日、着手予定年月日及び使用開始年月日の欄に、それぞれ記入してください。

- 2 「燃料の燃焼能力」には、2項施設の場合記入することとし、「火格子面積、焼却能力」には、1項施設の場合記入することとします。
- 3 原材料欄は、ばい煙の発生に影響のあるものについて記入してください。「種類」には、ばい煙発生施設において使用する原材料の種類及びごみ焼却では、雑芥、厨芥、混合芥等の種類を記入してください。
- 4 燃料の欄の「種類」には、石炭、重油、ガス等の種類を「燃料中の成分割合」には、灰分、いおう分の割合を重量比%、又は容量比%の別を明記し、「混焼割合」には、重量比%、容積比%の別を明記してください。また「発熱量」には、高位発熱量、低位発熱量の別を明記してください。
- 5 排水ガス量は、実測値、計画値、燃料使用量からの算出のうち、いずれの方法による値でもよいこととします。
- 6 排出ガス温度は、原則として排出口におけるものとします。
- 7 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とし、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とします。

いおう酸化物 (ppm) は、次の式による値とします。

$$\frac{\text{いおう酸化物 (Nm}^3/\text{h)} \times 1,000,000}{\text{排出ガス量 (Nm}^3/\text{h)}} = \text{いおう酸化物 (ppm)}$$

- 8 排出ガス量の算式は、次の式による値とします。

$$W [Go + (m - 1) Ao] = \text{排出ガス量 (Nm}^3/\text{h)}$$

---

W : 重油消費量 (kg/h) = 最大1時間消費量 (L/h) × 比重

Go : 理論燃焼ガス量 (Nm<sup>3</sup>/kg)

$$Go = \frac{1.11HL}{1,000} \quad HL \text{ (低発熱量)} \div \text{高発熱量} - 648$$

m = 空気比

Ao : 理論空気量

$$Ao = \frac{0.85HL}{1,000} + 2.0$$

- 9 いおう酸化物 (Nm<sup>3</sup>/h) の排出量は、次の式による値とします。

$$0.7 \times \frac{S}{100} \times W = \text{いおう酸化物 (Nm}^3/\text{h)} \dots\dots\dots (q')$$

[S : いおう分 (重量%)]

別紙2 ばい煙の処理方法

ばい煙に係る処理施設の工場 又は事業場における施設番号		煙突		
処理に係るばい煙発生施設の工場 又は事業場における施設番号		1		
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		煙突		
設置年月日		年月日	年月日	年月日
着手予定年月日		令和〇年〇月〇〇日	年月日	年月日
使用開始予定年月日		令和〇年◆月◆◆日	年月日	年月日
処	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大		
		通常		
理	排出ガス温度 (°C)	処理前		
		処理後		
能	ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
力	ばい煙量	いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前	
			処理後	
力	ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前
			最大	処理後
			通常	処理前
			通常	処理後
補効	ばいじん (%)			
集率	いおう酸化物 (%)			
排出口	実高さ Ho (m)		21.0m	
	頂部口径 (m)		〇cm×〇cm	
補正された排出口の高さ He (m)		21.2m		
排出速度 V (m/s)		0.2m/s		
添付書類	1 工場又は事業場附近の見取図 2 ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所を示す図面 3 ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の構造の概略図			

